



防災ガイドブックの使い方

- 見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。
- 表示してある危険箇所は、災害が発生する可能性がある場所です。自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。
- 避難する場合に備え、最寄りの指定避難所や親戚・知人の家などの避難する場所を事前に確認しましょう。

ステップ

1

自宅周辺の「危険箇所」を確認しましょう。

自宅周辺に土砂災害警戒区域があるか確認しましょう。
 ▶32～97ページ 防災ガイドブック(地図)

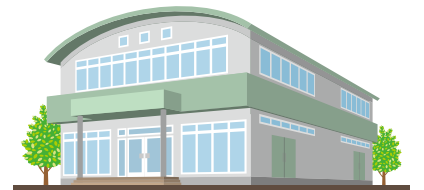


ステップ

2

自宅周辺の「最寄りの避難所」を確認しましょう。

避難所一覧から確認しましょう。
 ▶16～19ページ 避難所一覧
 ハザードマップから確認しましょう。
 ▶32～97ページ 防災ガイドブック(地図)



ステップ

3

非常時持ち出し品を確認しましょう。

非常時持ち出し品・備蓄品を確認しましょう。
 ※家族構成で持ち出し品は変わります。
 ▶4～5ページ 非常時持ち出し品の準備&チェック



ステップ

4

防災情報を確認しましょう。

市や各関係省庁が発信する正確な情報を確認しましょう。
 ▶14ページ 情報伝達の経路 ▶15ページ 災害情報の収集



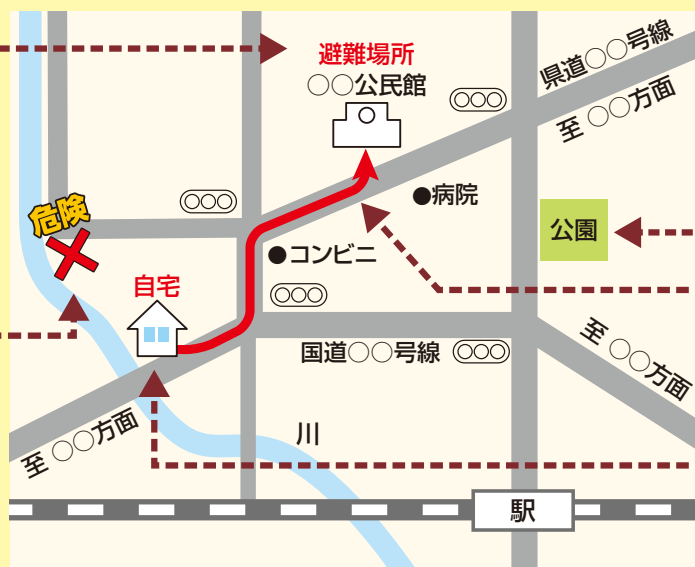
オリジナルマップの作成

● 避難場所

災害が起きたときの避難場所をチェックしましょう。

● 危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような場所には印をつけておいて、その道は通らないようにしましょう。



● 目印となる場所

避難経路上で目印となる場所を書き込みましょう。特に曲がり角にはわかりやすい目印を書き込みましょう。

● 避難経路

避難場所までの経路を書き込みましょう。

● 自宅

あなたの自宅を書き込みましょう。

家族で話し合ったことなどもふまえ、自宅から指定避難所や親戚・知人の家などの避難場所までの経路や危険な場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家族で共有しましょう。

